

検査情報月報 2月号 ▶ 概要版 ◀



Eiちゃん

▶ 横浜市衛生研究所では、所内で実施した試験検査などの結果に解説を加えて、検査情報月報を発行しています。



2022年2月発行

魚介類中のPCB検査結果（令和3年度）

- ▶ PCBとは、ポリ塩化ビフェニル(Poly Chlorinated Biphenyl)の略称で、ポリ塩化ビフェニル化合物の総称です。化学的に安定で、不燃性、高絶縁性などの特徴を持つので、変圧器、コンデンサーなどの様々な用途に使用されてきましたが、現在は新たな製造が禁止されています。
- ▶ また、分解されにくく、脂肪に溶けやすい性質があるため、環境中に放出されたものは食物連鎖の上位に位置する生物に蓄積され、魚介類、肉類、乳製品などに汚染が広がりました。さらに、大気や海洋などの循環により拡散し、北極圏などPCBを使用していない地域のアザランやクジラなどの生物にも高濃度に蓄積されていることがあり、地球規模での汚染が問題となっています。
- ▶ なお、東京事業エリア(埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県)においては、高濃度PCB含有の変圧器・コンデンサー等は処分期間が令和4年3月31日までと決まっているほか、安定器及び汚染物等は令和5年3月31日まで、低濃度PCB廃棄物は令和9年3月31日までに処分する必要があります。

主な結果 ▶ 令和3年6月及び10月に中央卸売市場本場で収去した市内に流通する魚介類8種10検体について、PCBの検査を行いました。魚介類の種類は、遠洋沖合魚介類のサンマ、ババガレイ、ヒラメ、マイワシと、内海内湾魚介類のイサキ、イシモチ、ブリ、マアジです。

▶ 全ての検体で不検出でした。

横浜市衛生研究所WEBページ情報（令和4年1月）

- ▶ 衛生研究所は保健所と連携しながら、科学的・技術的支援機関として、市民生活に密着した健康・安全・安心に関する試験検査や調査研究を実施しています。また、これらの業務で得られた感染症、保健、食品衛生、生活環境衛生、薬事に関連する情報を、WEBページなどで公開しています。
- ▶ そのうち感染症に係る内容は、感染症・疫学情報課に設置された横浜市感染症情報センターが発信する情報です。本センターは市内における患者情報及び病原体情報を収集・分析し、市民や医療機関へ提供することで、感染症対策に役立てています。

主な結果 ▶ 1月の総アクセス件数は 203,954件でした。

▶ アクセス件数の主な内訳は、横浜市感染症情報センター 80.7%、保健情報 11.3%、検査情報月報 2.0%でした。



横浜市衛生研究所

検索



Kenくん



横浜市 検査情報

検索